

1期目は福祉
分野でがんばり
ました！！



ささぐい純夫の 実績シリーズ①

(1) 前原市初！市内12箇所にオストメイト対応の多目的トイレを設置!!

当選後の初議会(平成14年12月13日)で、障害者用トイレをオストメイト対応の多目的トイレにと、強く要望した。

オストメイトとは人工肛門保有者及び人工膀胱保有者を指し、障害者トイレは手すりや車椅子で入れるスペースがあるが、オストメイト対応にするには、排泄物を洗浄する温水シャワーとシンクなどが必要。

この提案が議会にかけられ、厳しい予算編成作業の中で平成15年3月定例議会で可決され、設置が決定した。

また、前原市では今後障害者トイレを設置するときは、オストメイト対応多目的トイレを設置する事となりました。



完成したオストメイト対応多目的トイレ(写真はぱぴるす館)

前原市内のオストメイトトイレ設置場所

H15年度 4ヶ所	前原市役所1F 解放センター前原市隣保館 伊都国歴史博物館1F(簡易型) 伊都国歴史博物館4F
H16年度 3ヶ所	JR筑前前原駅北口 JR筑前前原駅南口 健康福祉センター「あごら」1F
H17年度 5ヶ所	伊都文化会館の1F 伊都文化会館の2F 東風(はるかぜ)コミュニティセンター 前原市図書館(ぱぴるす館) 平原歴史公園

(2) 市役所窓口などに耳マーク等の「身障者シンボルマーク」を設置!!

平成18年3月議会にて「障害者シンボルマーク設置」を求める一般質問を行った。

これにより3月23日、市役所各課の窓口や小中学校、公民館など市立の施設66ヶ所に聴覚障害者のシンボルマークである「耳マーク」を設置した。

「耳マーク」は、聴覚に障害がある人に対し、筆談に応じることを示す目印で、難聴者や中途失聴者に大変喜ばれている。

この他にオストメイト対応トイレ前には「オストメイトマーク」なども設置。

広報まえばる(5月1日号)に「障害者シンボルマーク」と、妊産婦を知らせる「マタニティマーク」の案内文を掲載。

ささぐい純夫はこれからも前原市のすべての人が安心して生活できるまちづくりを目指します。



前原市役所市民課前(写真↑)



前原市図書館(写真↓)